

安曇野市立小学校オンライン国際交流事業業務委託
に係る公募型プロポーザル評価項目及び評価基準

1 評価の意義

安曇野市立小学校オンライン国際交流事業業務は、児童が、海外に在住し原則、英語を母国語とする者とのオンライン交流を通じて、英語が通じる喜びや異なる文化への理解を肌で感じる経験を通して、英語学習への意欲を高め異文化への理解を深めることを目的としており、交流内容の企画や交流先や支援体制の充実が、交流事業の教育効果を大きく左右する要因となる。

したがって、交流プログラムの企画や交流先の確保状況や事業実績などへ信頼性などを総合的に評価する必要がある。

2 評価方法

審査委員 5 人が、提出された提案書について、「業務の信頼性の評価」、「企画提案内容の評価」に分けて項目別に 5 段階で評価する。

なお、別紙「審査表」を用いて評価し、審査委員が参加者順位 1 位を最も多くつけた参加事業者を候補事業者とする。参加者順位 1 位が同数の場合は、審査委員が参加者順位 2 位を最も多くつけた参加事業者を候補事業者とし、以下同数の場合は同様に 3 位 4 位と続ける。

審査の結果、評価点が 100 点中 50 点以下であった場合は選定しないものとする。
なお、評価点の算出は、全委員の評価点の平均（小数点第 2 位以下を切り捨て）による。

3 書類審査における評価点

評価	評価基準	配点方法			
		20 点満点	15 点満点	10 点満点	5 点満点
A	優れる、極めて良好	20	15	10	5
B	やや優れる、良好	14	11	7	4
C	普通、標準的、適切・適当	10	8	5	3
D	やや劣る、多少問題あり	6	5	3	2
E	劣る、問題あり	2	2	1	1

4 評価項目及び評価配点

合計 100 点で評価し、内訳は次のとおりとする。

(1) 業務の信頼性の評価【70 点】

ア 事業方針や事業への理解度 (20 点)

本事業の目的や内容を理解し、事業方針が明確か。

イ 業務の実績 (5 点)

過去の類似業務における実績と成果は十分か。

ウ 交流先の確保状況 (15 点)

必要な海外講師の確保は十分か。

エ 支援体制や危機管理体制の充実度 (20 点)

通信機器等の操作補助、海外講師や学校への支援体制及び事故や通信障害などへの危機管理対応が十分できるか。

オ 法令遵守体制 (10 点)

事業実施に当たり、法令遵守体制の取組は適切か。

(2) 企画提案内容の評価【30 点】

ア 交流提案内容の妥当性 (20 点)

提案内容は、児童の学習意欲を高める内容か。また、異文化の理解を深める内容が含まれるか。

イ 各小学校との連携 (10 点)

提案内容は、各小学校の英語担当教諭等と連携し、業務を進める内容となっているか。

(3) 価格評価

見積金額が予定価格を超えた場合は、評価を行わないこととする。